

2015年10月27日
第一生命保険株式会社

IFC アセットマネジメント社が組成する新興国/フロンティア諸国の 金融機関へ投資を行うファンドへの出資について

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：渡邊光一郎、以下「当社」）は、フロンティア諸国（※）を含む新興国の金融機関へ投資を行うプライベート・エクイティ・ファンド「IFC Financial Institutions Growth Fund（以下「本ファンド」）」に対する50百万米ドル（約60億円）の出資を決定しました。

本ファンドは、世界銀行グループの一員である国際金融公社（International Finance Corporation、以下「IFC」）の全額出資子会社であるIFC アセットマネジメント社（本社：米国ワシントン D.C.）が組成しており、同社が運営する新興国の金融機関を対象としたファンドへの出資は保険会社としてグローバルで初の取組みとなります。IFCでは1956年から新興国での投融資を行っており、豊富な経験を有していますが、IFC アセットマネジメント社はIFCと共同投資を行うファンドとして、これまでに総額で87億米ドルに及ぶ11のファンドを組成・運用しています。

当社は、本ファンドを通じた新興国の優良な金融機関への投資により、直接投資が困難な新興国への分散投資を実現することで、高い経済成長に裏付けられた投資収益を享受することが期待できると考えています。加えて、本ファンドへの出資は、現地の金融システムやコーポレート・ガバナンスの強化、中小企業が必要とする成長資本へのアクセス拡大といった側面から新興国の発展に貢献するものであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）の観点からも大きな社会的意義があると考えています。

当社は、今後も運用手法の高度化・多角化を通じて、資産運用事業における付加収益を追求すべく、様々な取組みに挑戦していきます。

（※）フロンティア諸国とは、新興国の中でも経済発展の初期段階にあり、相対的に資本市場が未成熟ですが、長期的に高い経済成長が期待される国々を指しています。

【本ファンドの概要】

| | |
|-----------|--|
| ファンド名称 | IFC Financial Institutions Growth Fund |
| ファンド運営会社 | IFC Asset Management Company, LLC (IFC 100%出資子会社) |
| 投資目的・投資対象 | 新興国の金融機関に対して IFC と共同投資を実施 |
| 投資対象地域 | アジア・ラテンアメリカ・アフリカ・中東・東欧などの新興国全般 |
| 投資家 | <ul style="list-style-type: none">・ IFC・ 国際協力銀行・ 他機関投資家等 |